

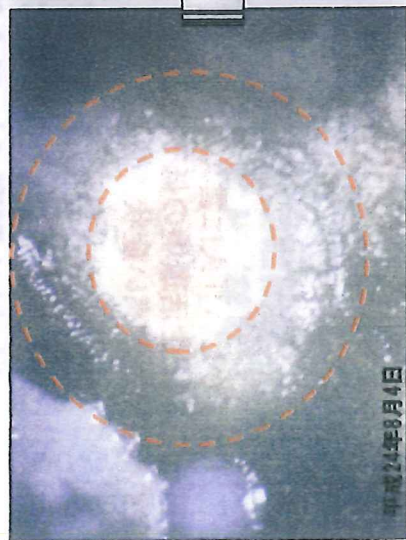
人工腐植液を用いたカビ繁殖抑制

平成24年7月28日からカビ繁殖開始

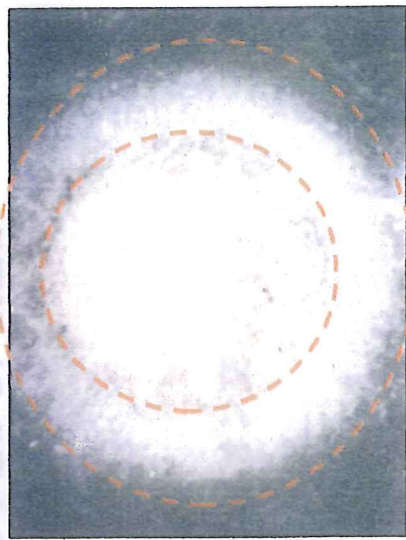
①平成24年8月3日11:00に腐植液散布



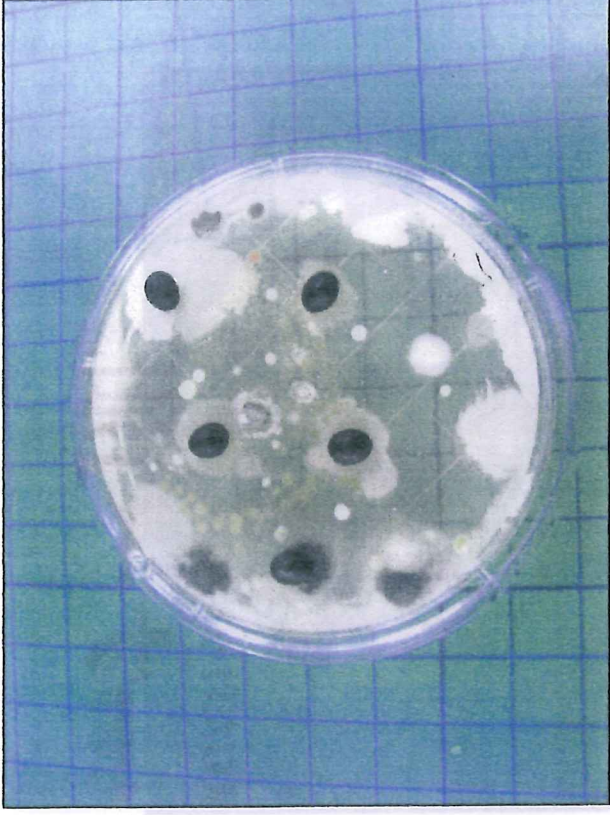
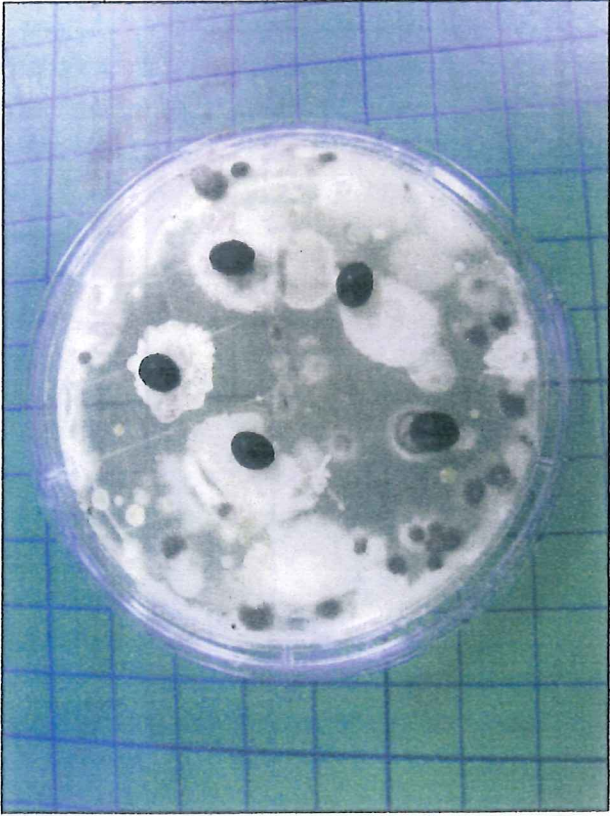
②無散布



40倍に拡大して観察



平成24年8月9日11:00に観察した結果、腐植液散布培地では黒色のカビが消滅したのに対して、無散布培地では菌糸に変化が見られなかった。



平成24年8月4日11:00にヨウ素粒を黒色のカビ上に設置した。設置後の平成24年8月9日11:00の観察で、ヨウ素粒に接している黒カビの個体数は減少していることから、抗菌作用のある素材であるといえる。しかし、その周辺のカビ固体が減少していないことから、揮発性のものでないと判断できる。

なお、イオン交換樹脂は「三菱化学」の製品がある。今回、腐植液をイオン交換樹脂に混ぜ込むことで同様の製品を作成することが可能と考える。

オルガノ株式会社、このような樹脂を用いて製品を作っている。